

## 青沼達也選手 (CMSC 帯広) 砂川で見事優勝!

### '88JMSダートラシリーズ

第4戦 7月2~3日 山形県米沢市

第5戦 8月6~7日 北海道砂川市

#### CMSC山形・砂塚選手 6位入賞

第4戦には、CMSCより、荒井信介(群馬)、鈴木功敏(福島)、砂塚明男(山形)の3選手が参戦。第2戦4位、第3戦2位と好調の荒井選手の活躍が期待されたが、おしくも入賞はならず、ギャラン同士による激しいトライアルの結果砂塚選手が6位に入賞した。道産子の意地を見せたCMSC帯広・青沼選手

続いて行なわれた第5戦では帯広の青沼選手が大活躍。「まさかこのメンバーで勝てるとは思わなかった」という青沼選手は、1本目1分44秒25のトップタイム。続く2本日は、コースの荒れが少なかったので思い切って勝負をかけるも、ミッショントラブルで1秒強のタイムダウン。だが、最大の強敵、湯本ブルーバードのオーバーアクションのドリフト走行を見て勝ちを確信。「内地の人は、やはりハイスピードコースに慣れていない人が多いでしょう。今回のトライアルは、テクニカル部分がなかったおかげで勝たせてもらいました。」とのコメントのとおり見事北海道チャンピオンシリーズとのダブルタイトルがかかった一戦での優勝を決めた。

→第4戦米沢で6位に入賞した砂塚選手



↑鈴木功敏選手はA II 11位



↑荒井選手は今回は奮わず



↑ギャランに乗り替えて「絶好調」の青沼達也選手は、見事A II優勝

### CMSC帯広 青沼 達也



いままで北海道チャンピオンシリーズをFF車で参加していましたが、途中でギャランを借りた途端、一躍ポイントリーダーとなってしまう、それではということで自分のギャランを注文しました。しかしながら、今回のトライアルには納車が間に合わず、あいかわらず、レンタル車でのおっつけ本番。それでも勝ってしまうほど、ギャランが速しが感想です。



↑砂塚選手は第5戦では、4位であった



↑CMSC札幌、小肩秀紀選手←CMSC帯広の富樫選手はランサーで参戦

## '88CMSCチャレンジカップ栄光は誰の手に?

'88CMSCチャレンジカップの8月末日までの集計が各クラブより報告された。クラブ別のポイントでは、6月~8月の3ヶ月間で482ポイントをかき集めた

CMSC山形が、ダントツのトップ。これは、金田、杉山、砂塚選手のスラローム部門での活躍があってのこと。また、全日本を始めラリー部門で活躍する

選手の多い、青森、札幌も250ポイント以上をかき集めて活躍を見せている。クラブ別ポイント以外に個人ポイントも激しい争いを見せ今後の展開が注目される。

#### ●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	71	212			283
札幌	129	254			383
青森	104	250			354
岩手	0	0			0
山形	267	482			749
仙台	20	80			100
福島	181	223			404
栃木	54	43			97
群馬	196	153			349
埼玉	11	26			37
岐阜	26	22			48
島根	77	108			185
香川	96	96			192

#### ●ラリー・ドライバー部門

吉川 幸彦	札幌	116
千田 俊二	札幌	102
塩野谷浩光	群馬	90
館山 正嗣	青森	84
大西 康弘	青森	84
奥山 高志	仙台	64
福士 文秀	青森	50
菅野 茂	福島	40
金田一直志	青森	36
小川日出生	山形	34

#### ●ラリー・ナビゲーター部門

佐藤 忠宜	福島	104
永沢 裕之	青森	58
葛西 一省	青森	56
内田 昭佳	群馬	46
巻口 実	札幌	20
三田 行男	埼玉	16
青木 功	栃木	15
本田 弘	岐阜	12
石尾 寿一	札幌	10
益子 友幸	栃木	10

#### ●スラローム部門

金田 至	山形	180
荒井 信介	群馬	180
杉山 敏夫	山形	167
砂塚 明男	山形	164
青沼 達也	帯広	158
鈴木 功敏	福島	146
佐藤 信一	福島	102
白井 修	香川	102
小肩 秀紀	札幌	96
杉坂 啓一	島根	88

#### ●レース部門

小川日出生	山形	48
相沢 いく	埼玉	8
清水 潤	埼玉	8
川口 法行	栃木	6
佐藤 政一	仙台	4
金田 至	山形	2
長南 茂夫	埼玉	2
今野 広志	仙台	2

#### ●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A=ラリー.....全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ  
スラローム...全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMSシリーズ  
レース.....全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ  
B=それ以外の競技会  
↑リタイアには予選不通過も含む

# CMSC主催イベントでもVR-4大活躍

## CMSC島根

'88CMSC島根ダートトライアル

8月21日 比田スポーツランド山陰

8月21日、快晴の中、日本海シリーズ第6戦CMSC島根ダートトライアルが、比田スポーツランド山陰にて開催された。前日までの雨のため、ぐちゃぐちゃのコースコンディションの中、1本日のベストタイムは小松桂三ギヤランの2分39秒92。多少良くなったコンディションで行なわれた午後のトライも40秒を切る車はなく、唯一小松選手が2分38秒15と自己ベストを更新し優勝した。標高635mの起伏に富んだ今回のコースでは、やはりVR-4は強くブルーバード、ファミリアを寄せつけなかった

(レポート 国谷益雄)



唯一40秒を切った小松桂三選手



2位の西村勝選手



3位には山田伴治選手が

# 伊吹浩明選手主催クラブの面目を保つ3位入賞

## CMSC帯広

第4回CMSCコルトダートトライアル

8月21日

第4回を迎えるCMSC帯広コルトダートトライアルは8月21日、前日からの小雨にたたられたウェットな状況で開催。スラロームとフルターンが各2ヶ所というテクニカルコースに各車悪戦苦闘。4WDクラスで優勝候補筆頭の伊吹ギヤランも、スタスタのフルターンで大きくアウトにふくらみ、タイム・ロス上りのスラローム区間で挽回したもの、パワーを生かし切れずに結局3位。4位には、富樫昭彦ランサー、6位に福本光志ランサー、7位中村洋二ランサーと当クラブ員が続き終了した。

(レポート 青沼達也)



4WDクラス3位 三菱賞1位には、伊吹浩明選手が

4WDクラス4位 三菱賞2位、富樫昭彦選手

FRクラス5位 高橋英俊選手



4WDクラス6位、三菱賞3位には同じく帯広の福本光志選手が



# 山内伸弥選手を迎え盛大に実のある練習会開催

## CMSC岐阜

練習会

6月18・19日 位山スキー場

6月18・19日の両日、快晴のもと山内伸弥選手を講師として招き、位山スキー場駐車場にて練習会を開催しました。19日当日は、伸弥選手の生の走りが見られ、又実技指導が受けられるとあって、他クラブを始め多くの参加があり、にぎやかな雰囲気での練習会となりました。コースは高速コーナーとパイロンを周回する複合コースを設定。初めに講師に模範走行をしていただき、その後クラブ員が走り、それぞれ批評を受ける形で進行。質疑応答の時間を設けた後、タイムトライアルを行いました。

わずかな時間ですが、適切なアドバイスにクラブ員の走りも変わり、充実した練習会となりました。今後機会があれば、このような企画を主催してほしいという参加者の声も多数ありました。

(レポート 山下鉄明)



山内伸弥講師による好評の同乗走行



会場となった位山スキー場駐車場



山内伸弥講師と、運営に当たったCMSC岐阜のスタッフ